

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公開番号】特開 2003-250097(P2003-250097A)
 【公開日】平成 15 年 9 月 5 日 (2003.9.5)
 【出願番号】特願 2002-361669(P2002-361669)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/44 A

H 0 4 N 5/44 D

H 0 4 N 5/76 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 11 月 25 日 (2005.11.25)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 受信機 / デコーダ内でデータを経路指定するための経路指定装置であって、

リアルタイムユーザ経路指定情報を受信するための手段と、

受信した前記リアルタイムユーザ経路指定情報に従って、前記データを入力から出力又は記憶手段に経路指定し、又、前記出力及び記憶手段の両方に経路指定するための手段とからなることを特徴とする経路指定装置。

【請求項 2】 受信機 / デコーダ内でデータを経路指定するための方法であって、

リアルタイムユーザ経路指定情報を受信するための工程と、

受信した前記リアルタイムユーザ経路指定情報に従って、前記データを入力から出力又は記憶手段に経路指定し、又、前記出力及び記憶手段の両方に経路指定するための工程とを含むことを特徴とする方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0305
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0305】

復調器 2012、2014 は、(図 4 に図示される) デスクランブラ / デマルチプレクサ / リマルチプレクサ 2010 に接続される。図 9 にさらに詳しく図示されているように、フロントエンド 8010、8012 のそれぞれが、それぞれデータストリーム 8040、8042 のそれぞれを多重分離し、番組及び / またはアプリケーションの多様な音声コンポーネント、映像コンポーネント及びデータコンポーネントを抽出するように構成されるデマルチプレクサ 8014、8016 に接続される。該デマルチプレクサ 8014、8016 は、次に、それぞれがデマルチプレクサ 8014、8016 と関連付けられ、データストリーム 8040、8042 を逆スクランブルするようにそれぞれ構成されるデスクランブラ 8018、8020 に接続される。該逆スクランブルは、前述されたような条件付アクセスシステムにより判断される特定のアクセス可能性に従って発生する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0317

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0317】

このようにして、ビデオデータのケースでは、典型的には「画像内画像」を含むディスプレイに形を取る、該または各テレビ番組のモザイクを含む複合画像が作成される。「画像内画像」を生じさせるために、ビデオデバイス 3734 の制御下の M P E G デコーダ 2028 が、次にグラフィックエンジン 2032 によってオーバレイされる各データストリーム 8040、8042 に対応する別個の復号されたビデオ出力を生じさせる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0324

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0324】

経路指定手段 8072 は、受信機手段 8080 によっても受信される参照番号 8090 によって示されるユーザタイムシフト制御命令を受信するようにも構成される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0329

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0329】

同様に、経路指定手段は、出力 8078 に、及びタイムシフト記憶領域とレコード記憶領域 8082、8084 にデータストリーム 8042 を送るように構成 してもよい。